

(令和4年6月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	<p>6月は緊急事態宣言下にあった前年同月と比べて、業務需要の回復が見られたが、冷凍魚の海外需要増加による入荷量の減少から、総入荷量は前年同月比で13%下回り、総取扱金額は前年同月比を11%上回った。</p> <p>7月ははもの出荷が最盛期を迎える。この時期のはもは脂の乗りが良く、おいしい時期である。定番の湯引きをはじめ、から揚げや蒲焼きでもおいしく食べることができるので、お好みのメニューで3年ぶりに開催される祇園祭と共に京都の夏を堪能してほしい。</p>
鮮 魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は41%上回った。</p> <p>品目別には、まだい(天然)、はまち(天然)の入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。はもの入荷量は前年同月を上回ったが、業務需要の高まりにより単価は上回った。</p>
冷 凍 魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は4%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷するめいかの入荷量は前年同月を上回ったが、業務需要の高まりにより単価は上回った。</p>
加 工 水 産 物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は16%上回った。</p> <p>品目別には、塩銀さけ、すけそうこの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。丸干ししゃも、いくらのはもは前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	石川、三重で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で30%下回り、単価は53%上回った。
ま い わ し	千葉、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で35%下回り、単価は30%上回った。
さ ば	石川、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は29%上回った。
す る め い か	石川、新潟で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月並みとなり、小型中心の入荷から単価は7%下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は29%上回った。
は も (近)	兵庫、愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で10%上回ったが、業務需要の高まりにより単価は82%上回った。
けん さ き い か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で45%下回り、単価は36%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月並みとなり、大型物の水揚げ減少による値上がりから、単価は14%上回った。
冷するめいか	入荷量は前年同月比で10%上回ったが、業務需要の高まりにより、単価は12%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は30%上回った。
身欠にしん	入荷量は前年同月比を22%下回り、単価は8%上回った。